



# 第 1304 回例会報告

平成25年2月 14日(木) 晴

【2月は世界理解月間】

## 会長挨拶

会長 蒲地整志

## 意識改革

私が40代前半の頃、もうお亡くなりになったある会社の社長さんが私に「人間は意識改革だよ。意識改革をしなければならぬんだ」と繰り返し仰いました。

まだ若かった私が、その本当の意味を理解するまでには10年以上かかりました。

大仙院住職の色紙です。

「心 心は行動となり 行動は習癖を生む 習癖は品性を作り 品性は運命を決する」

巨人からニューヨークヤンキースに行った松井選手の星陵高校時代の山下監督も同じ趣旨の事を言っておりました。

以下に示した文は、私のお客様の会社の工場に掲げてある標語です。

1. 意識が変われば態度が変わる！
2. 態度が変われば行動が変わる！
3. 行動が変われば習慣が変わる！
4. 習慣が変われば人格が変わる！
5. 人格が変われば人生が変わる！
6. 人生が変われば運命が変わる！

意識改革は、向上心とか生涯学習にもつながる事です。

ロータリーの職業奉仕の理念を修得することも正に意識改革と言えます。

## ◇幹事報告◇

### 【報告事項】

1)今月号のガバナー月信をご覧ください。諏訪湖ロータリークラブから大量13名の「ポールファリスフェロー」「米山功労者」が記載されています。

ご寄付をいただいた皆さんと、担当の国際奉仕委員会皆さんに心から敬意と感謝の意を表します。

### 【連絡事項】

1)17日のIMはお忘れなくご参加ください。上諏訪駅からの送迎バスは余裕がありますので自由にお乗りください。

### ■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	25名
出席率	71.4%
前回修正	71.4%

### ■ニコニコBOX

19名	22,000円
累計	737,000円
目標額	130万円
達成率	56.7%

### ■今週のことば

宮原裕一先生、吉田知可さん足元の悪いところお越しいただきありがとうございます。よろしく願いいたします。

海老原十三

皆さん いつもありがとうございます。感謝……

北原厚子

北原会員からは、沢山のバレンタインチョコレートをいただきました。お返しをお忘れなく

### ■次回のプログラム

2月28日

ガールスカウト活動報告  
助成金贈呈

新世代奉仕委員会



当日幹事が所用で遅れますので、吉澤クラブ奉仕委員長と原副幹事をお願いいたします。受付一括で行いますので、資料の受け取りは兩名よりお願いいたします。

### 【受領文書】

各クラブ広報が届いています。

## 諏訪湖浄化助成金贈呈

例会に先立ち信州大学山岳科学総合研究所、山地水域環境保全学部門 宮原教室の宮原裕一教授に、恒例の研究助成金10万円を贈呈いたしました。



贈呈する蒲地会長 右は宮原教授

## 第1304回例会

社会奉仕委員会 担当例会

諏訪湖における2枚貝の再生に関する研究

信州大学大学院生 吉田知可さん

私は2011年から2012年にかけて、二枚貝を諏訪湖に再生させ、自然で永続的な水質浄化を行うことを目的として実験を行った。



二枚貝の能力の推定および水質浄化に有効な貝の選択のため、貝の濾過速度の測定を行った。その結果、イケチョウガイの濾過能力が最も大きい事が分かった。しかし、琵琶湖原産のイケチョウガイを諏訪湖に増やすには「移入」の問題がある。そこで、諏訪湖に生息している二枚貝を比較検討し、イシガイが水質浄化に有効と判断した。今後、イシガイを諏訪湖で増やし、その生息範囲を拡大させることが、重要な課題である。

一方、二枚貝の生息に適した環境を探るため、諏訪湖においてイケチョウガイを用いた養殖実験を行った。2011年には諏訪湖の高浜沖で77個体、2012年には上川河口の諏訪湖漁業協同組合のイネスで152個体の養殖を行った。なお、これらの貝には真珠養殖のため、核入れの施術を行った。高浜沖では3月の養殖開始から7月までに、77個体中49個体が死亡した。一方、諏訪湖漁業協同組合のイネスでは、養殖期間中に1個体も死亡しなかった。この2地点の観測結果を比較したところ、水中の酸素、餌となる藻類、水温のいずれもが高浜沖と比較して、諏訪湖漁業協同組合のイネスの方が好条件であった。

また、2011年に引き続き、2012年の3月に、水産試験場諏訪支場において、淡水真珠の母貝であるイケチョウガイへの真珠の核入れを行った。2013年も真珠の核入れを行う予定となっている。貝の成長を待ち、真珠の有無を確認する予定である。

(吉田さんの健闘を祈ります)

## 2012-2013 諏訪グループ IM(インターシティミーティング)が実施されました

2月17日 諏訪RCの主管で「子どもたちに明るい未来を」のテーマのもと「いじめ」についての勉強を中心としたIMが実行されました。

諏訪湖RCからは24名もの多くの方々の参加をいただきました。出し物の「琵琶湖周航の歌」2部合唱も素晴らしかったのに賞をもらえなかったのは、かえすがえすも残念でした。